

消防博物館

消防博物館は、江戸時代に描かれた絵巻や錦絵、大正時代の消防クラシックカーから最新の消防隊の装備まで、消防に関する資料を展示しています。開館日の午後1時45分から館内を案内するガイドツアーを実施しており、子供から大人まで楽しみながら消防への理解を深めることができます。



所 在：東京都新宿区四谷3-10
 交 通：東京メトロ丸ノ内線四谷三丁目駅
 2番出口直結
 電 話：03-3353-9119 (代表)
 開館時間：午前9時30分から午後5時00分まで
 入場無料
 休 館 日：月曜日 (国民の祝日に当たる場合はその翌日)
 年末年始 (12月29日～1月3日)

展示の紹介



▲ クラシックカー



▲ ショーステージ (消防活動のしくみ)



▲ 消防隊の装備



▲ 馬牽き蒸気ポンプ



▲ 江戸時代の消火風景

池袋防災館

都心で学ぶ防災の体験学習ゾーン



● 主な体験コーナー

- ・ 図上訓練コーナー
- ・ 救助救出コーナー
- ・ 地震コーナー
- ・ 煙コーナー
- ・ 消火コーナー
- ・ 救急コーナー
- ・ 通報コーナー
- ・ 視聴覚教室

所在地 東京都豊島区西池袋2-37-8

開館時間 午前9時～午後5時
(金曜日は午後9時まで)

休館日 火曜日・第3水曜日
(国民の祝日に当たる場合はその翌日)
12月29日～1月3日

お問い合わせ先 TEL: 03-3590-6565
FAX: 03-3590-6843

ホームページ
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-ikbskan/>

ナイトツアー

池袋防災館では、毎週金曜日に夜9時まで開館時間を延長し、午後5時と午後7時から、ツアー方式での体験を行っています。この延長された時間帯の体験では、通常の体験コース以外に、夜間の発災を想定した「ナイトツアー」を体験することもできます。

体験時間 (所要時間1時間40分)

- ① 午後5時 ～ 午後6時40分
- ② 午後7時 ～ 午後8時40分

※定員は各コース30名

体験内容

- ・ 防災シアター
- ・ 地震体験
- ・ 消火体験
- ・ 煙体験



▲ ナイトツアー体験の様子

本所防災館

見て、触れて、下町のくらしを守る体験学習



● 主な体験コーナー

- ・暴風雨体験コーナー ・都市型水害コーナー
- ・川の手地域コーナー ・地震コーナー ・煙コーナー
- ・消火コーナー ・救急コーナー ・通報コーナー
- ・防災シアター

所在地 墨田区横川 4-6-6
 交通 総武線・東京メトロ半蔵門線「錦糸町駅」から徒歩10分
 京成押上線・都営浅草線・東武スカイツリーライン・東京メトロ半蔵門線「押上駅」から徒歩10分
 開館時間 午前9時～午後5時
 休館日 水曜日・第3木曜日
 (国民の祝日に当たる場合はその翌日) 12月29日～1月3日

お問い合わせ先 TEL：03-3621-0119
 FAX：03-3621-0116

ホームページ
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-hjbskan/>

暴風雨体験コーナー

大型のモニターを用いた解説映像や雨量、風速のリアルタイム表示を行うことで、体験者だけでなく、見学者にも、効果的に暴風雨の威力について視覚的に学習できます。

大型等身大モニターにおける教育映像を活用した学習

等身大の大型モニターで暴風雨に係る教育映像を上映し、雨の降り方や暴風雨による危険性などを学習できます。

また、画面上部には体験室内の「雨量」「風速」がリアルタイムに表示されるため、体験室内の状況がより理解しやすくなっています。



▲ 暴風雨体験コーナー体験の様子

立川防災館

親子で楽しみながら体験を通して防災を知る



● 主な体験コーナー

- ・日常生活事故防止コーナー ・救助救出コーナー
- ・子ども防災体験広場 ・地震コーナー ・煙コーナー
- ・消火コーナー ・救急コーナー ・通報コーナー
- ・防災ミニシアター

所在地 立川市泉町 1156-1
交通 バス 立川駅北口
(1番乗り場) から
「立川消防署」下車すぐ
多摩都市モノレール
「高松駅」から徒歩15分

開館時間 午前9時～午後5時
休館日 木曜日・第3金曜日
(国民の祝日に当たる場合はその翌日)
12月29日～1月3日

お問い合わせ先 TEL: 042-521-1119
FAX: 042-523-5119

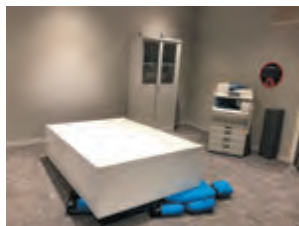
ホームページ
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-ttbskan/>

救助救出コーナー新設

リアルな造形により震災現場を再現した空間で、要救助者の捜索から救助・救出、搬送までの一連の行動を体験することができます。倒壊家屋のほか、寝室及び事務室を想定した屋内空間での体験も行うことができます。



▲ 寝室災害現場



▲ 事務所災害現場



▲ リアルな造形での体験

また、現場活動における二次災害の危険性や要救助者の捜索、救出要領等について体験学習できます。

日常生活事故防止コーナー新設

生活空間のなかにある様々な事故危険とその防止策について、家庭の居室内を再現した造形を通して学習することができます。来館者が造形の中に入って自由に学習できるほか、最新のAR技術を使った体験も可能です。



▲ 体験イメージ



▲ ARタブレット



▲ ARタブレット画面イメージ

目の前の造形にCG映像が重なり事故発生の様子や対策の方法について学習できます。



事故防止グッズの展示

事故の発生危険がある場所には様々な事故防止グッズが解説パネルとともに設置されており、実物に触れながら効果を体感することが可能です。

ARタブレットを使用した学習機能

専用のタブレットを通して目の前の造形を覗くと、事故が発生する様子のCG映像が実景と重なって表示され、視覚的に学習することが可能です。

映像による演出

体験の前には、大型スクリーンの映像で共助の重要性について学び、体験に向けての気持ちを高めます。



▲ 映像イメージ



▲ 映像が終ると目の前に倒壊家屋が現れる▲

